

紅 陵

第 138 号 令和6年5月2日発行
編集 岐阜県立土岐紅陵高等学校
TEL 0572(57)7131
<http://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/tokikoryo-hs>
責任者 PTA 会長 小栗 辰彦

御挨拶

校長 田中 誠二



4月1日に中津高等学校
定時制より転任して参りま
した。どうぞよろしくお願
い申し上げます。

赴任してより毎日、学校
から見渡す丘陵に春の色

彩がいそぎ移ろう様子を楽しんでいます。豊かな自然と伝統ある町に抱かれた本校は、学び舎として素晴らしい立地にあることを日々感じています。恵まれた環境のもと、県内に4校しかない総合学科単科高校として、多様な学びを活かした特色ある教育を進めていきたいと考えております。総合学科では、学びを外に開くことが求められます。そのために、保護者の皆様にご協力やご支援をお願いすることも多々あるかと思いますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

赴任初日に最も印象的であったのが、職員室が明るく活気にあふれていることでした。日が経つにつれ、職員員の気持ち強く生徒に寄り添っていることがわかってきました。始業してからは、生徒の皆さんがそれに呼応するように、前を向いていることがその姿から伝わってきました。校外でお会いする方々が、異口同音に本校生徒の様子が落ち着き、明るくなってきたとお話されていたことにも合点がいった次第です。この流れを止めることなく、生徒ひとりひとりの可能性を伸ばすことができるような学校づくりに努めて参ります。

何年も前になりますが、近世の図書流通を研究されている国文学者から、江戸時代の啓蒙書の中に「大切なことほど、ゆっくりと学ぶのがよい」という件があるということを知り、感銘を受けたことがあります。時は金なりといった風潮は、グローバル化の波と共に私たちの生活の隅々にまで広がっていて、効率一辺倒を胡散に思っていたはずの私も然り、知らず知らずにそのような価値観に陥っていたようです。「大切なことほど、ゆっくりと学ぶのがよい」という対極的で大らかな発想が、胸に引っ掛かり、心穏やかでいられたのです。

土岐紅陵高校で学ぶ生徒の皆さんは、どのような思いを抱いてこの学校を選ばれたのでしょうか。それぞれ

異なる経緯があるのですが、誰もが成長したい、幸せになりたいという心もちでここに集ったのではないのでしょうか。人が成長し、幸せになる上で、先ほどの「大切なこと」は、その扉を開く鍵のひとつではないかと私は思っています。

ゆっくり学ぶに値する「大切なこと」には、「自分がやりたいこと」、「好きなこと」、「(今はできないけれど)できるようになりたいこと」があたると思うのですが、それは人によっていろいろです。人の輪にいることが好き、創作が好き、ビジネスが好き、器が好き、子どもが好き、韓流が好き、人の数だけ「大切なこと」はあるはずです。本校を選ぶ際に、すでに「大切なこと」をもっており、その学びを深めるために門を叩いたというのであれば、大変うれしいことですし、是非情熱を傾けて学んでもらいたいと思います。そうでない場合、本校での3年間は「大切なこと」を見出すには適した環境だと思います。他校にはない、特色ある授業がいくつも用意されていますし、地域に出て人の間で学ぶ機会も豊富です。アンテナを高く立てて、自分の心が何に感応するのを探り続けてもらいたいと思っています。

「大切なことほど、ゆっくりと学ぶのがよい」というのは、なんとも含みをもたせた言葉ではないのでしょうか。好きこそものの上手なれと言われるように、大切なことであればこそ、夢中になって学び続けることもできると取ることもできます。確かに、心の向くことであれば続けることも厭わないところはあります。また、別の解釈として、性急なことでは続かない、肩の力を抜いてゆとりと構えて取り組むほうがよいという戒めとも取れます。私は、この言葉の先に「大切なこと」への江戸時代に生きた人の気概を感じています。自分が大切に思うようなことならば、安直に成果を求めず、腰を据えて向き合うのがよい。その頂に至ったなどという驕りを抱かず、さらなる高みを求めて学び続けるのがよい。「ゆっくり」というやわらかい言葉の奥に、事を成さんとする覚悟のようなものを感じてしまうのです。

土岐紅陵高校という場で、生徒の皆さんにとって「大切なこと」の萌芽が生まれれば、これほどうれしいことはありません。保護者の皆様とともに大切に見守り、育てていきたいと思ひます。

入学おめでとう！

各地では桜の開花とともに、春のお祭りが行われる季節となりました。4月8日、本校の校庭の桜も咲き誇り、鳥のさえずりが春のさわやかさをいっそう際立たせ、新入生を迎えるにふさわしい日となりました。真新しい制服を着た新入生が、喜びと緊張感の入り交じった表情で登校してきました。

午後1時、男子38名、女子52名の新1年生を迎えて、入学式が挙行されました。田中校長より入学許可宣言がなされた後、厳粛な中にも心温まる歓迎の言葉がかけられました。そして、新入生代表の曾我美友佳さんが、力強く入学の宣言をしました。下の写真はその時の様子です。

28年目に入った総合学科の新入生に、中学生までの自分、そして、これからの自分を、どのように捉えているのか作文にしてもらいました。2名の作文を紹介します。



これまでの私 これからの私

1年3組28番 森下寧々

私は中学校時代、絵を描くことについて一番力を入れてきました。私には中学校を卒業するまでに絶対とりたかったイラストコンクールの賞がありました。というのも、そのコンクールに応募できるのは中学生までという制限があり、チャンスはたったの3回しかなかったのです。中学生になって初めて応募した作品の酷さは今でもよく覚えています。当時はその作品が最高に上手だと思っていたのですが、他の応募作品と見比べて、まるで作品の魅力を引き出せていませんでした。こんな調子では賞を取るのは夢のまた夢だと考えた私は、そのあとから、自分の絵と他人の「上手」と言われる絵の違いを探し始めました。テーマや構図、陰影の付け方から考えを改め、行き詰ったときはたくさんの人から意見を頂き、様々な考え方や描き方を取り入れることができました。その努力の甲斐あって、ついに3年生で優秀賞を頂くことができました。学級でも、修学旅行の表紙を担ったり、学級アルバムの表紙も任せられました。この事もあり、私は自分の絵に自信ができました。また、物事を多方面から見つめ、視野を広く持てるようになったことがこの経験の成長です。

高校生活では、これまでのことを生かし、仲間とお互いに高めあっていけたらいいと思います。また、様々なことにも挑戦したいと考えています。高校生活では自由にできる範囲が広がるので、積極的に挑戦し、努力をし、悔いの残らないような、有意義であったと言い切れる日々を送りたいです。

1年1組4番 梅村ひなり

私は、生まれつき耳が聞こえません。約15年間聾学校に通っていました。

聾学校というのは、私と同じような障がいを持っている人が通う学校です。ですから、普通の小学校や中学校よりも人数が少なく、1クラス5人程度で作られます。人数が少ない分仲良くもなりやすいですが、狭いコミュニティで同じ人たちとずっと生活するため、人見知りだったり内向的な人が多いというデメリットがあるように思います。私も言いたいことをすぐにいうことができないし、それによって友達に勘違いされてケンカになったこともあったり、私も重度の人見知りで、なかなか声が出なかったり、仲良くなりたいのに、それをうまく伝えることができないことがたくさんあって、そんな自分を変えたいと思い、健聴者ばかりの世界に勇気をもって飛び込みました。

だから高校では、自分からどんどん積極的に関わって、いろいろな人と友達になれたらうれしいと思っています。

今は不安と楽しみが半分半分くらいだけど、入学したら楽しく思えることばかりにできるように努力したいなと思っています。

それでもやっぱり私は難聴なので、自分一人ではどうにもならないことが出てくると思います。聞こえにくいと、どうしても何度も聞き返さなきゃいけないことがあったり、言葉の聞き間違いや、発音が悪かったり、何かに集中していると全く聞こえないときもあります。そんな時は、分からないまま自分で解決しようとしないように、周りにいる人たちに助けてもらおうと思います。

今はまだ卒業後の夢が決まってないけど、就職したいなと思っています。だから、どんな仕事についても自分が困らないように分からないときはわかったふりをせず、聞こえないときは何度も聞くという力をしっかり身に付けられるように3年間頑張っていきたいと思っています。

学 級 担 任

		1年	2年	3年
学年主任		細川 万穂	加藤 健二	野々村 健
1組	正	加藤 緑 福井 恵一	坂野 未来 小田中悠真	佐藤 純子 薄田 直樹
	副			
2組	正	濱田 真成 山田 仁美	伊藤 翔真 石崎 吉一	荻曾 翔 稲垣あけみ
	副			
3組	正	細井 祐花 田中 洋	内山 久子 田内 香織	田嶋 大樹 井上裕美子
	副			
学年付副担任		安部麻由美	鈴木 茂博	高橋 俊和
		白川 功貴	安藤みゆき	水野 健靖
		続木紀美子		貝川 和生



演劇ワークショップ

部 活 動 顧 問

茶道部	安部麻由美 加藤緑 <野々村勉>
吹奏楽部	高橋俊和 細井祐花
美術部	井上裕美子 内山久子
漫画研究部	鈴木茂博 稲垣あけみ <肥田有香>
演劇部	大宮学 佐藤純子
卓球部	加藤健二 安藤みゆき
バスケットボール部	福井恵一 坂野未来
バレーボール部	田嶋大樹 白川功貴
弓道部	石崎吉一 野々村健 <虎澤敏彦>
野球部	荻曾翔 小田中悠真 (伊藤翔真) (金子浩隆) (貝川和生)
ウエイトリフティング部	伊藤翔真 細川万穂 続木紀美子 <戸松伸隆>
サッカー部	坂崎陽祐 濱田真成 水野健靖 (貝川和生)
能力開花	田中洋 山田仁美 (金子浩隆)
eスポーツ	田内香織 薄田直樹



対面式

< >は部活動非常勤講師



転出・退職された先生方

相川 長徳	校 長	退職
谷口 誠紀世	実 習 助 手	退職
戸松 大	保 健 体 育	退職
山田 浩太	数 学	関有知高等学校
山本 輝正	理 科	瑞浪高等学校
市川 奨吾	保 健 体 育	武義高等学校
堤 大樹	商 業	東濃実業高等学校
大野 宏幸	事 務	土岐商業高等学校

新転任の先生方紹介

①教科 ②前任校

田中 誠二 校長

① 理科 ② 中津高等学校



中津高等学校定時制より着任いたしました。元気に挨拶してくれる生徒の皆さんから、毎日元気をもらっ

ています。生徒が生き生きと活躍し、可能性を伸ばせる学校になるよう努力して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

福井 恵一 先生

① 保健体育 ② 土岐商業高等学校



土岐商業高校より異動してきました。楽しみばかりでワクワクしています。よろしくお願い致します。

濱田 真成 先生

① 理科 ② 恵那農業高等学校



初めまして。この度の異動で恵那農業高校から来ました。転勤してきたばかりで、わからないこともたく

さんありますが、皆さんと学びながら、頑張っていきますので、よろしくお願い致します。

田内 香織 先生

① 家庭 ② 阿木高等学校



総合学科の学校は初めてで、新入生のような気持ちで生活しています。多感なこの時期に、いろいろなことを

学び吸収しながら自分の進路実現に向けて学校生活を送っている皆さん。そんな皆さんの応援ができればと思っています。

小田中 悠真 先生

① 商業 ② 新規採用教諭



はじめまして。教員生活1年目を、この土岐紅陵高校で始められることを嬉しく思います。生徒のみなさんと

共に、自分自身も日々成長できるよう、精一杯頑張ります。これからよろしくお願ひします。

貝川 和生 先生

① 総合学科実習助手 ② 新規採用助手



はじめまして。貝川（かいがわ）と言います。昨年まではメーカー営業として東京都で働いておりました。

初めて学校現場で働くことに、ワクワクしております。学校内で見かけたらいつでも話しかけてください。皆様、宜しくお願ひ致します。

伊藤 翔真 先生

① 保健体育 ② 多治見工業高等学校



はじめまして。昨年は瑞浪高校と多治見工業高校で非常勤講師として勤務していました。今回土岐紅陵高校

では、常勤講師ということで不安なこともたくさんありますが、明るく元気に、一生懸命取り組んでいきますので、よろしくお願ひします。

今井 雄大 先生

① 事務 ② 新規採用事務



はじめまして。今年の4月から岐阜県職員となり、この土岐紅陵高校で勤務させていただきますこと

になりました。去年まで高校生で何から何まで分からないことばかりですが、精一杯事務のお仕事を頑張らせていただきます。これからよろしくお願ひします。